

令和元年度

事業報告書及び附属明細書

社会福祉法人中東福祉会

目 次

(事業報告書)

法人本部の事業概要	1
重点項目・地域交流報告	3

(附属明細書)

苦情・事故件数	18
事業所別年間利用者数及び稼働率	19
職員数の推移	20
職員有資格者数	21
職員研修参加数	22

事業報告書

法人本部の事業報告（事業概要）

年月日	事業名	概要
4月1日	辞令交付式 管理者会議・新人リエンテーション	於. 第二いずみの里 於. ま～まカフェ・第二いずみの里
5月9日、10日、14日	山田公認会計士による監査	於. 本部 山田公認会計士より監査報告書受理
5月15日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
5月16日～17日	法人監事決算監査	於. 法人内施設
5月23日	令和元年第1回理事会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 理事8名 監事2名 議題 次期理事・監事候補者の推薦について 定款・運営規程・就業規則の一部改正について 平成30年度事業報告・決算について 令和元年第1回評議員会の開催について
6月7日	令和元年第1回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員9名 理事2名 監事2名 議題 次期理事・監事の選任について 定款の一部改正について 平成30年度事業報告・決算について
6月7日	第2回理事会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 理事7名 監事2名 議題 理事長の選定について
6月11日 他	正規職員採用試験 (令和2年4月1日付採用)	於. 本部 正規職員外部23名、内部6名合格
6月27日、28日、7月1日	理事長法人内施設巡回	於. 法人内施設
7月12日、29日	主任研修（外部講師）	於. 帛の郷憩いのホール 参加者44名
8月5日	第3回理事会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 理事6名 監事1名 議題 運営規程の一部改正について 給食業務委託に係る契約期間の延長について 新潟市障がい者テイクアウトセンター指定管理者 公募の申し込みについて (仮称)陽だまり2号棟新築工事に係る 指名業者の決定について 第2回評議員会の開催について
8月19日	第2回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員7名 理事2名 監事2名 議題 運営規程の一部改正について 給食業務委託に係る契約期間の延長について 新潟市障がい者テイクアウトセンター指定管理者 公募の申し込みについて (仮称)陽だまり2号棟新築工事に係る 指名業者の決定について
8月20日、27日	正規採用試験 (令和1年10月1日付採用)	於. 本部 正規職員6名合格
9月5日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
9月17日	高卒程度採用試験	於. 本部 正規職員1名合格

年月日	事業名	
10月3日	(仮称) 陽だまり2号棟入札	於. 帛の郷憩いのホール
10月4日	顧問社労士による個別相談 管理職向け研修会 (労務管理の基礎知識)	於. 五泉市福祉会館相談室 2名 於. 五泉市福祉会館大会議室 44名参加
10月8日	第4回理事会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 理事8名 監事1名 議題 理事長の職務執行状況について 運営規程の一部改正について 入札結果について 第3回評議員会の開催について
10月17日	第3回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員会7名 理事2名 監事2名 議題 入札結果について
11月28日	令和2年4月採用職員研修	於. 帛の郷憩いのホール
12月4日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
12月10日	第5回理事会	於. 五泉市福祉会館大会議室 出席者: 理事8名 監事2名 議題 運営規程・就業規則の一部改正について 育児休業・介護休業等に関する規定の 一部改正について 補正予算について 第4回評議員会の開催について
12月19日	第4回評議員会	於. 五泉市福祉会館大会議室 出席者: 評議員9名 監事2名 議題 補正予算について
令和2年1月6日	理事長年頭挨拶	於. 法人内各施設
1月21日 他	明日葉採用試験	於. 本部 正規職員6名合格
2月19日	令和2年第1回理事会	於. 五泉市福祉会館大会議室 出席者 理事7名 監事2名 議題 公印規程、事務処理規程、苦情解決実施要綱の一部改正について 運営規程・就業規則・経理規程の一部改正について リターン採用特別措置規則の制定について
	新年度事業計画・予算説明会 管理者会議	於. 五泉市福祉会館大会議室 於. 帛の郷憩いのホール
3月2日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
3月9日	第2回理事会	於. 五泉市福祉会館大会議室 出席者 理事6名 監事2名 議題 理事長の職務執行状況について 苦情解決第三者委員の選任について 運営規程、就業規則、経理規程の一部改正について 補正予算、新年度予算、事業方針、第1回評議員会について
3月17日	第1回評議員会	※新型コロナウイルス感染症防止対策のため 実地での開催を取りやめ、書面議決を行う。 議題 補正予算、新年度予算、事業方針について
3月31日	退職者辞令交付式	於. 法人本部

法人施設の事業報告（重点項目・地域交流）

障 害 福 祉 事 業 部		課 題 等	
計 画		報 告	
施設名 いずみの里	○重点項目		
	(1) 生活介護・日中一時支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個別の障害特性や意向、課題を把握して作成された個別支援計画に沿った質の高い生活支援を多職種協働により提供する。また、重度高齢化に伴い支援の工夫、環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに専門性の高いサービスが提供できる
	(2) 施設入所支援・短期入所事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の重度高齢化や障害特性支援及び介護技術の習得に努め、より専門的な施設入所支援及び在宅利用者への短期入所サービスを提供する。強度行動障害のある利用者への行動手順書を作成し、より専門的で一した支援を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに専門性の高いサービスが提供できる
	(3) 居宅介護等事業（フレンド）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や社会資源と連携し、在宅利用者が地域で充実した生活が送れるよう居宅介護計画に基づいた生活支援及び介護サービスを提供する。また、福祉有償運送事業における安全運転教育を徹底し事故防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質で満足してもらいサービスを提供する ・「キャンセル待ち」を導入し、空き時間をサービスに繋げ稼働率アップに努める
	(4) 共同生活援助事業（陽だまり）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの意思を尊重し、地域の中で安心して自分らしい個性的な生活が送れるよう支援する。老朽化した住居については、関係者と協議を進め計画的な住み替え、建て替えを検討する。また、働き方の多様性に即した勤務形態の見直しも行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な建替え、住替えの協議を継続する
	○地域交流・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・いずみの里・陽だまりとともに日頃から地域の行事等に積極的に参加し、地域の一員として安心して暮らしていただける体制を築く。同時に納涼祭、地域合同防災訓練等によって、地域住民との協働作業を通じて、災害時における相互協力体制を更に強いものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルに沿った各種訓練やシミュレーションを行うことで、災害に備える

施設名	計 画		報 告		課題等
自立就労センター ターミナル					
○重点項目					
(1) 自立訓練(生活訓練)事業					
日常生活の向上に向けた支援や社会適応訓練などを行う。知的障害の他に自閉症、発達障害など利用者の障害特性が多岐にわたり、個別のニーズと課題が多様の中、個人々の生活能力の維持・向上のために必要な個別支援計画に沿った支援プログラムの拡充と地域生活を営む上での「自立」に向けた支援に努める。	発達障害支援や軽度知的障害者支援等について園内研修を重ね、より個別のニーズに応えられるよう支援力を高め実践に結び付けた。	特別支援学校等と連携し、繋がりや途切れない支援を提供する。同時に、説明会など開催し新規利用者を獲得する			
(2) 就労継続支援A型事業					
法人との雇用関係に基づき、就労に必要な知識や能力の向上に向けた支援を行う。施設外就労や工房・喫茶店業務を提供する中で業務のスキルアップを図り、悩み事の相談を受けるなど精神面の支援を継続すると「働きがい」が実感でき就労が継続できるように支援する。併せて、利用者の意思や能力に応じた職場開拓や求職活動を行う。	施設外就労や工房業務、受託作業等を提供する中、悩みごとなど相談を受け、改善できるよう利用者に対して勤務時間やシフトの調整、精神的なサポートを行った。	より専門的な支援が提供できるよう、各種研修機会を設け実践に繋げる			
(3) 就労継続支援B型事業					
生産活動などに係る知識及び能力の向上や維持に必要な支援を行う。多種多様な生産活動や受託作業を提供する中で利用者の潜在能力を引き出し、「働く喜び」を感じるよう作業種目や受託業務先の開拓を進める。清掃を中心とする施設外就労や喫茶店業務などにも、より多くの利用者が関わられるように対応する。又、一般就労を希望される利用者に対し、就職に向けたサポート体制を確立し、就労に必要な訓練や職活動に関する支援を行う。	工賃向上を目標に、協議を重ね準備を進めた。具体的には、『農耕作業』は、地域住民の協力を得ながら、さつまいもから芋へ品種を転換し、高利確売の準備を進めた。『菓子工房』は、原価率を計算し商品内容の見直し、リニューアル等の準備を進めた。 ・利用者個々の能力を障害特性に合わせ引き出せるよう、環境改善を繰り返した。	より専門的な支援が提供できるよう、各種研修機会を設け実践に繋げる ・収益効率の高い活動を確保できるよう専門性を高める			
(4) 就労定着支援事業					
福祉サービス利用後、一般就労に伴い生じる日常生活や社会生活を営む上での課題に対応できるよう関係機関や家族等と連絡調整の上、相談、指導、助言等について必要な支援を行う。	実際の就職に結びついた利用者をバックアップしていく制度だが、昨年度は就労に結びつかず、結果該当する利用者がいかなかった	通常の就職活動支援はもろもろの向かい企業を訪問していき、就労に結びつける			

施設名	計画	報告	課題等
自立就労センター ターイずみ	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人会によるさつま芋苗植えボランティアや保育園児を対象としたさつま芋掘りの受け入れ、地域合同の納涼大会、地元町内会への加入や空缶回収等を実施し、地域住民とのふれあいを通じて、相互理解を深め、地域交流を申し入れは積極的に受け入れ、利用者ボランティアについては、定期的に避難訓練を実施し、関係機関への通報及び連絡体制を整備し、情報共有と連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアやさつま芋掘りの受け入れ、空き缶回収等を計画的に行い、地域住民と相互理解を深めた。 ・納涼祭を地域と連携協力しながら開催することができた。 ・定期的に避難訓練を行った。 ・『いずみ郷大規模自然災害対応マニュアル』を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルに沿った各種訓練やコミュニケーション訓練を行うことで災害に備える ・害獣被害でさつま芋の作付けが難しく、今後は里芋へ品種転換を行う
第二いずみの里	<p>○重点項目</p> <p>(1)生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による重度化には、基礎的生活能力の向上と健康の保持、体力の増進を図るために必要な支援を行う。身体的機能低下や認知機能の低下が危惧される利用者にはリハビリ支援に努める。障害の多様化には、これまでに以上に発達障害や強度行動障害等の特性を理解した支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康生活班では高齢者施設の理学療法士等の助言を参考に、平行棒や歩行器を使用した歩行、ブロック等を使った手先のリハビリを行った。創作作業班では市展等を目指した創作活動や手先を使う軽作業の他、必要な方には下肢筋力強化のリハビリを実施した。 ・行動障害のあるケースについて、前年度から引き続き特に応じた視覚的な情報提示や、職員による「肯定的な関わり方」を実践し、一定の効果が得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリの評価 ・運動機会やレクリエーションの充実 ・「構造化」や「肯定的な関わり方」を広げる ・作業棟各部屋の有効活用
	<p>(2)施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所支援は、個別支援計画に沿って利用者個々のニーズに応じた個別性のある質の高い支援を目指します。また、利用者が安全・安心に過ごすができきるよう、一人ひとりに寄り添いながら、生活の場としての施設環境づくりに進める。短期入所は、安定した事業運営とともに、在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため、関係機関と連携を図りながら緊急対応にも可能な限り受け入れできるように体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設周りの舗装工事や居室の洋室化、壁破損部分の補修、洗面所のリビングルーム化等、快適な生活環境作りを努めた。 ・短期入所は、施設入所者の状況や職員配置を勘案しながら、緊急的な利用を積極的に受け入れた。 ・利用者の変化やアクシデントについての検討が遅れ、同じアクシデントが繰り返されることがあった。 ・1月26日に女性入所者が離脱し死亡する事故があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化する利用者状況の共有や個別支援計画を検討する場の確保 ・成育歴や本人の想いを理解した上での支援の実践 ・離脱後の被害を最小限に抑える仕組みや環境整備

施設名	計画	報告	課題等
第二いすみの里	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流行事に積極的に参加すると同時に、納涼祭等施設の行事にも協力・参加してもらうことにより、互いに理解を深める。また、毎月の各種防災訓練の他にも、地域合同防災訓練を実施し災害時の協力体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域住民や「こやすくん」より協力をいただき、納涼大会を盛大に開催することが出来た。 ・地域協力者の二次災害予防に留意した訓練を行い、更なる改善点や火災に限らない非常時の地域協力力について、多くの意見をもらった。 	<p>非常時のいすみ郷協力体制の確立</p>
満日の里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員が作成したサービス等利用計画を基本に、個別支援計画を作成しこれに基づいて多職種が連携して統一した支援を提供する。高齢による重度化には身体機能低下防止のため、リハビリ支援の充実や感染症予防に努める。特に強度行動障害等の支援については環境を整え、より専門性の高い支援を行う。 <p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所支援については個別支援計画に沿って、利用者個々のニーズに応じた質の高い支援を目指す。また、短期入所は在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため関係機関と連携を図り、緊急対応にも可能な限り受け入れられるよう体制を整える。 <p>(3) 相談支援事業（まんにち）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族と相談しながら将来を見据えたサービス等利用計画を作成し、必要な社会資源や関係機関等とのネットワークを活用した支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の内容をより具体的に、多職種協働で計画に沿ったサービスの提供に努めた。 ・園内外の歩行を積極的に支援の中に取り入れるなど、重度高齢化に伴う身体機能低下の予防に努めた。 ・感染症については、看護師を増員し衛生面を強化することで例年以上に感染予防に努めた。 ・強度行動障害者専用の支援スペースとして、談話室を改修し専門的な支援の提供に努めた。 ・強度行動障害者支援者養成研修を積極的に受講し、重度障害者支援に関する加算の取得に努めた。 ・短期入所については、職員配置の関係で短期入所棟の有効活用とまではいかなかったが、調整を工夫するなどして稼働率の向上に繋げた。また、関係機関と連携を図り、夜間問わず可能な限り緊急時の受入れを行い、家族の負担軽減に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重度高齢化に対応するための充実 ・強度行動障害者支援スペースの有効活用 ・短期入所事業のさらなる稼働率の向上 ・さらなる記録等事務の効率化

施設名	計画		課題等
満日の里	<p>(4) 居宅介護等事業 (まんにち)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を持つ方が地域の中で暮らしを続けるために、居宅介護等計画に基づいて必要なサービスの提供を行う。その為に計画的に強度行動障害支援等の各種研修に参加し、専門的な知識及び技術の習得を図る。また、福祉有償運送事業における職員の安全運転の徹底を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・効率的なサービスの組み立て及び提供
	<p>(5) 自立生活援助事業 (まんにち)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身で生活をする利用者に対し、定期的な巡回訪問や随時通報を受けての訪問を行い日常生活を営む上での問題を把握し、相談対応や助言、情報提供、関係機関との連絡調整等、自立した生活を営む為に必要な助言を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の様々な生活課題に合わせたサービス提供
	<p>(6) 共同生活援助事業 (なでしこ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活を希望する利用者に対し、自分らしく安全快適な生活が出来るよう支援する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた余暇支援の提供 ・ホームの老朽化
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等による交流を積極的に推進し地域に開かれた施設を目指す。同時に地域との合同防災訓練を実施し、災害時の応援協力体制を更に強いものとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・よりスムーズな避難誘導のためのマニュアルの見直し
きなせ家	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、生産活動の一層の充実と達成感の持てる活動内容の工夫に努める。また、社会参加を目的とし外出の機会も取っていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・活動 (フロア) 面積が狭い。 ・障害の重度多様化に対応した職員研修機会の充実。

施設名	計画	報告	課題等
さなせ家	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が誇りを持って働き、生きがいを持って地域生活が送れるよう個々に合わせた作業提供・就労支援を行う。施設外就労での技術やマナーの習得に取り組みとともに、自主製品の販売拡大を中心とした「工賃向上計画」に則り工賃増に取り組み。また、就職に向けた体験や関係機関とのネットワーク構築に努める。 <p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市の委託によるII型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動など個々に適した活動の提供に努めるとともに、「サンサンクラブ」等の活動を計画し積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図る。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市南公園だけでなく五泉駅周辺などの清掃活動をこれからも積極的に行う。施設利用者の通勤通所時の交通安全等に注意を促す。また避難訓練や消火訓練等も実施し利用者の安全に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域で生きがいをもって生活が継続できるよう就労活動を通して支援を行った。 ・施設外就労や受託作業、自主製品販売は比較的安定して推移したが、年度末以降は感染症流行で仕事（受託）量が減少した。 ・デパートでの買い物体験や社会見学を通してマナー習得を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市の委託によるII型事業として、創作活動・生産活動・レクリエーション等の余暇の提供に努めた。 ・「サンサンクラブ」では活動を通して、地域貢献や地域で暮らす障害者との交流を深めることができた。 ・入浴支援や買い物の機会を設け、自立への促進を図った。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献、社会参加を目的に五泉市南公園や五泉駅周辺の清掃、環境美化活動を行った。 ・通所時における交通事故防止、交通マナー等について朝礼、終礼時に注意を促した。 ・避難訓練では消防署立会いのもと誘導訓練を行うと共に消火訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の加齢に伴う作業能力低下に対応した作業の見直し。 ・利用者の特性、能力合った自主製品の開発。
さくらの里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の介護や訓練の継続・充実に努める。併せて、個々に応じた達成感のもてる個別活動や生産活動の提供及び散策・ウォーキングなどで機能維持・健康増進を図る。また、社会参加を目的とした外出の機会も取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿った支援や介護、訓練、個別活動、生産活動を継続して実施した。 ・安全に活動できるスペース確保のためフロア内外の環境整備を行い、仕切り板の活用などを進め効果を得ることができた。 ・さくらアリーナを活用することで天候に係わらず機能維持に努めることができた。 ・毎月、社会参加を目的とした外出や季節感のある行事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースでの安全な有効活用の継続 ・障害の重度、多様化に伴う研修機会の充実 ・個別支援計画の充実 ・自己選択ができる機会の提供

施設名	計画	報告	課題等
さくらの里	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <p>・利用者が誇りを持って働き、生きがいをもち、地域生活が送れるよう、個々に合わせた作業提供・就労支援を行う。施設外就労の充実・自主製品の販売拡大を中心とした「工賃向上計画」に則り、工賃増にも引き続き取り組む。また、就労に向けた体験や関係機関とのネットワークの構築に努める。</p>	<p>・個別支援計画に沿って個々に合わせた作業提供、就労支援を継続して行った。</p> <p>・施設外就労の継続、自主製品常設販売箇所の新規開拓、17回のイベント販売を行った。</p> <p>・受託作業を積極的に受けて作業確保に努めた。</p> <p>・社会見学（協働作業所かやき:阿賀野市）や希望目的などのグループ外出を通して、マナー習得や意欲向上を図った。</p>	<p>・利用者の加齢等による作業能力の低下に伴う作業種目の見直し。</p> <p>・利用者に合った自主製品の開発。</p>
	<p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <p>・五泉市の委託によるⅢ型事業として、生産活動・創作活動・憩いの場の提供に努めた。</p> <p>・「サンサンクラブ」では活動を通して、地域貢献や地域で暮らす障害者との交流を深めることができた。</p> <p>・グループ外出や昼食会など社会体験の機会を提供した。</p> <p>・9月から8名の新規利用者の紹介を受け、内6名が定期利用につながった。</p>	<p>・五泉市の委託によるⅢ型事業として、生産活動・創作活動・憩いの場の提供に努めた。</p> <p>・「サンサンクラブ」では活動を通して、地域貢献や地域で暮らす障害者との交流を深めることができた。</p> <p>・グループ外出や昼食会など社会体験の機会を提供した。</p> <p>・9月から8名の新規利用者の紹介を受け、内6名が定期利用につながった。</p>	
	<p>○地域交流・防災</p> <p>・愛宕小学校との交流会を引き続き実施する。また、「さくらアリーナ」「村松公園」をはじめとする地域資源の積極的な利用などで地域の方と接点を深める。施設利用者の通勤通園時の交通安全等に注意を促す。また避難訓練や消火訓練等も実施し利用者の安全に配慮する。</p>	<p>・さくらアリーナ、村松公園を積極的に利用し、地域の方との関わりを深めることができた。</p> <p>・通所時における交通事故防止・交通マナー等について朝礼終礼時に注意を促した。</p> <p>・避難訓練では火災を想定した総合訓練に加え、通報訓練・消火訓練を併せて実施した。</p>	
あさひの家	<p>○重点項目</p> <p>(1) 相談支援事業</p> <p>・五泉市からの委託相談、計画相談支援、地域相談支援と重層的な相談支援が可能な事業所の強みを活かした様々な相談に対応するとともに、個別の相談から地域に共通する課題をみつけ、五泉市障害者総合支援協議会を通して「地域づくり」に反映させていく。</p>	<p>・五泉市からの委託相談については、年間延べ2,379件であった。</p> <p>・五泉市障がい者総合支援協議会関係では、運営会議、地域生活部会、就労部会、相談支援等連絡会、権利擁護連絡会に参加し、地域づくりに取り組んだ。</p>	<p>・関係機関との連携、情報共有</p>

施設名	計画	報告	課題等
あさひの家	<p>(2) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場が安全・安心且つ楽しく過ごせる場となるよう環境整備及び活動の充実を図る。特に、施設内で出来る手軽な運動を通して健康増進や交流を図る。また、精神障害に関する正しい理解が普及し、当事者が自身の経験を基に活躍できる地域づくりのため、各種講座の開催や、五泉市等が主催する普及啓発事業への協力を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場の延べ利用者数は4,341人であった。 ・各種活動の延べ利用者数は978人であった。 ・運動不足解消のために、毎朝、ラジオ体操に取り組み定着することができた。 ・精神障害に関する正しい情報を提供し、地域での見守り役を増やすため、「こころの健康講座」(全3回)を開催した。 ・前年度に行った「家族心理教室」の参加者(統合失調症の子を持つ親)を対象に、フオローアップ講座(全2回)を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせるための憩い場の環境整備 ・ケースに対する関係機関との連携、情報共有
	<p>(3) 新潟圏域障害者生活支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県からの委託を受け、五泉市・阿賀野市・阿賀町における対応困難ケースへの助言及び地域のネットワーク構築に向けた広域的な支援を行う。また、3年後の本事業再編を見据え、各市町担当課、基幹相談支援センター、新潟圏域振興局等と協議を重ねながら円滑な引き継ぎに向けた準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五泉市・阿賀野市・阿賀町の相談支援専門員が抱えている課題に対して、「圏域勉強会」を4回、「圏域別研修会」を1回開催した。サービスマスターも参加していただき、情報共有やネットワーク構築を行った。 ・ピアサポートの推進のため、「精神障害者の支え合い講座」(全3回)を開催し、グループの活動支援についても継続して取り組んだ。 ・地域活動支援センター事業と連携し、「家族心理教室」のフオローアップ講座を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再編を見据えた関係機関との役割分担の調整
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流イベント「なないろふえすた」の虹工房との共同開催を、利用者の主体性を尊重しながら継続する。また、通常あさひの家行事へも虹の会ボランティア等が参加しやすいよう、情報発信を工夫する。年2回の避難訓練を利用者が多い行事開催日に合わせて実施し、非常時に備える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流イベント「なないろふえすた」を開催し、来場者は約360人であった。 ・虹の会、フリースペース村松のボランティアの方から行事等に参加していただいた。 ・防災に関しては、避難訓練を7月と12月に実施した。また、7月の避難訓練後には、虹工房と合同で消防署にて消火訓練を行った。(あさひの家参加利用者3人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流イベント等のボランティアの確保
虹工房	<p>○重点項目</p> <p>(1) 就労移行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労に必要な技術や能力を見極め、就労移行支援計画書に沿って個々の状況に応じた支援を行い、ハローワーク等関係機関との連携のもと、利用者の特性や希望に合った就労へつなげる。また、五泉市内1ヶ所の就労移行支援事業所として、利用ニーズに最大限応えるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労ミーティングにて、面接や履歴書の書き方など就労に必要な知識及び能力向上を目指した訓練を行った。 ・一般就労に1人、トライアル雇用で1人繋げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携、情報共有 ・プログラム内容の充実

施設名	計画	報告	課題等
虹工房	<p>(2) 就労定着支援事業</p> <p>・就労移行支援事業所等から一般就労し一定期間経つた方及びその就労先への定期的な訪問等を通し、就労に伴う環境変化による生活面の課題の把握や、その解決に必要な支援及び連絡調整を行い、就労定着を図る。</p>	<p>・該当者がおらず、サービスの提供実績はなかった。</p>	<p>・関係機関との連携、情報共有</p>
	<p>(3) 就労継続支援B型事業</p> <p>・個々の能力をのばして目標が達成できるよう、就労継続支援B型支援計画に沿った施設内外の作業の提供及び就労に向けた訓練を行う。また、工賃増を目標に受託作業及び自主製品作成・販売の強化に取り組む。併せて、特別支援学校や基幹相談支援センター等との連携により利用者確保し、稼働率の維持・向上を図る。</p>	<p>・安定した通所を目標に生活面、精神面での助言を行った。また、就労継続支援B型ミーティングを実施し意欲の向上を図った。</p> <p>・事業所見学や合同面接会、ジョブガイダンスに参加するなどして就労支援に取り組んだ。</p>	<p>・受託作業、業務委託等の確保</p>
	<p>(4) 地域活動支援センター事業</p> <p>・生産活動、創作的活動、ボランティアとの交流活動、余暇活動等の日中活動を提供しながら、若年者から高齢者まで幅広い利用者の個々のニーズに応じた支援を実施していく。</p>	<p>・就労継続支援B型への移行など、個々のニーズに応じた支援を行った。</p> <p>・月1回「茶話会」を開催し、ボランティアとの交流を図りながら楽しく過ごす時間を設けた。</p> <p>・高齢化に対応した活動内容の充実に取り組み始めた。</p>	<p>・高齢化に対応した活動内容の充実</p>
	<p>○地域交流・防災</p> <p>・地域交流イベント「なないろふえすた」のあさひの家との共同開催を、利用者の主体性を尊重しながら継続する。また、虹の会ボランティアと共に行う毎月のお味噌汁作りや茶話会を大切にしながら、ボランティアと利用者の交流を深めていく。防災に関しては、消防計画の通り年2回の避難訓練及び各種点検を実施する。特に避難訓練に関しては近隣住民や事業所にも協力を仰ぎ、非常時に備える。</p>	<p>・地域交流イベント「なないろふえすた」を開催し、来場者は約360人であった。</p> <p>・虹の会のボランティアの方から行事等に参加していただいた。</p> <p>・防災に関しては、避難訓練を7月と11月に実施した。また、7月の避難訓練後には、あさひの家と合同で消防署にて消火訓練を行った。（虹工房参加利用者4人）</p>	<p>・地域交流イベント等のボランティアの確保</p>
たんぽぽ	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <p>・食事や入浴といった日常生活能力の維持と健康の保持に必要な支援の一つとして、町内の福祉団体と合同で創作活動に関する研修を開催。また、施設内および施設外行事を通して共同生活や社会参加に必要なさまざまな習慣化に努める。</p>	<p>・リハビリテーションを兼ねた創作活動で作った作品は、前年対比で32%増となり工賃として支給した。</p> <p>・第19回全国障害者芸術文化祭に合わせ、町内2事業所と合同研修を提案したが、日程等の調整ができず流会となった。</p>	

施設名	計画	報告	課題等
たんぼぼ	<p>(2) 就労移行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求められる知識や技能の習得及び向上に必要な訓練を行うと同時に求職活動を支援する。また法人内施設と連携し、企業訪問や見学を行い就労意欲の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者を積極的に雇用する企業を訪問、見学し先方が求める人材に必要な技能等を明確にし、その習得に努めた。 ・障害者雇用枠で就職した利用者が安心して続けられるように定着支援に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に必要な技能の取得に向けたプログラムの立案と実践
	<p>(3) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の潜在能力を引き出すため多種多様な生産活動を提供し、地域において自立した日常生活や社会生活ができるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設外の各種業務や多種多様な生産活動を提供した。年間を通して各種イベントで販売と接客を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなイベントへの出店
	<p>(4) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者そして家族のニーズを的確に把握し、身近な保健、医療、福祉サービスを活用し、総合的なサービスの提供に努める。また、これまで解決できなかったことや支援に至るまでに時間を要したことについて、地域の課題としてとらえ、阿賀町自立支援協議会や新潟圏域地域生活支援センターなどと協議を重ね、個人の尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことができればよい支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・109名の障害者、児の相談支援を行った。支援の方法は、多い順から電話（608件）、訪問（503件）と続き、支援の内容としては福祉サービスの利用が一番多く2,167件となっている。 	
	<p>(5) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿賀町の委託事業として働くことが困難な障害者が集う場として、創作または生産活動を提供するとともに仲間づくりのための支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を促進し、自立した生活を支援するためにさまざまな機会を提供したが、参加者は少数で限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求課題を満たすプログラムの開発
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者基本法がめざす「地域社会における共生」をさらに推進するため、地域の皆さまにふれあいの場を提供し、障害者に対する理解を深めるとともに心のバリアフリーを進める。地域の一員として、事業所及びその周囲に設置された防災設備が機能するよう日々除草や除排雪を行い環境の整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流活動の一つとして、緑のカーテンを推進。アサガオの苗400株を希望者に配布した。 	

施設名		高 齢 福 祉 社 事 業 部	
菅名の里・ま おろしの郷		報 告	
計 画		課 題 等	
○重点項目			
(1) 特別養護老人ホーム事業			
<p>・利用者・家族ニーズの高い多床室のなかで、終の棲家として入居者個別の暮らしを提供できるよう、ひとり一人の意思や希望を尊重する「心に寄り添う介護」の充実を図り、自分らしい普通の暮らしが実感できる居心地の良いサービスをグループケア、担当制を活用しながら提供する。介護事故撲滅、感染症の集団感染防止を最重要課題とし、「安全・安心」が感じられる介護サービスの提供に努める。</p>	<p>・菅名の里では3グループ体制で安定したサービス提供体制が確立された。両施設とも入退所も少なく大きな事故も見られなかった。課題であったインフルエンザ等感染症対策については新型コロナウイルス対策もあり、職員の衛生意識が向上し感染防止できた。</p>	<p>・感染症対応の継続 ・褥瘡ゼロの取り組み ・余暇活動の充実 ・長期感染対策による利用者の機能低下</p>	
(2) 短期入所、障害短期入所事業			
<p>・利用者が住み慣れた地域や自宅で生きがいを持って、自立した日常生活が継続できるよう個別介護計画に基づいたサービス提供に努める。障害短期入所において、利用者ひとり一人の個別支援事項を整備し、安全で質の高いサービスの提供に努める。また、菅名の里とまおろしの郷の連携を強化し、新規利用者の開拓、受け入れを積極的にいい在宅介護の支援を推進する。</p>	<p>・長期利用者が減少し入退所業務の負担は大きくなっていくものの、重度利用者の受け入れから認知症対応など柔軟に対応受け入れできた。感染症対応についてもきめ細やかな対応で感染発生の要因となることは回避できた。</p>	<p>・感染症対策の継続 ・まおろしの郷との連携強化</p>	
(3) 通所介護事業			
<p>・認知症や重度の利用者を積極的に受け入れ、「褒める」「励ます」「認める」をキーワードに個々に合わせた個別機能訓練、活動メニューの実施により、生きがいを持って自立した在宅生活が継続できるよう支援する。</p>	<p>・余暇活動を工夫しサービスメニューは活性化したものの、利用者の軽度が進み稼働率には反映しない面もあった。利用者が継続して利用したくなる魅力あるサービスメニューが不足した。</p>	<p>・軽度利用者対策 ・新サービスメニューの提供</p>	
(4) 在宅介護支援センター事業			
<p>・在宅高齢者もしくは要援助となるおそれのある高齢者とその家族からの相談に応じ、各種保健、福祉サービスが受けられるよう市の関係機関と連絡調整し、地域の高齢者福祉の向上を目指す。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、生活支援コーディネーターとして生活支援サービスの基盤整備に努める。</p>	<p>・各種予防教室の開催、お茶の間サロンへ出向いての啓発活動など予定通りに実施できた。 ・関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握と悪化予防を図り、生活支援コーディネーターとして地域座談会に参加し、地域づくりに取り組んだ。 ・法人内3在介連携でのサービス提供を行うことができ</p>	<p>・各種記録の確認 ・行政との意見交換</p>	

施設名	計画	報告	課題等
菅名の里・まおろしの郷	<p>(5) 居宅介護支援事業</p> <p>・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。通所介護、短期入所との連携による、きめ細やかなサービスの提供を行い、地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。</p>	<p>・処遇困難ケース、緊急ケース等の対応にも積極的に取り組んだ。併設する居宅サービス事業所との連携や情報共有することで、迅速かつ適切に課題解決に結びつけることができた。</p>	
五泉中央デイサービスセンター 五泉中央サポーター	<p>○地域交流・防災</p> <p>・地域行事・地域活動への積極的な参加と協力を行う。馬下地区福祉のまちづくり運動推進委員及びまおろしの郷運営推進委員との連携を図り、地域との結びつきを強化する。防災体制においては定期的にマニキュアル等の見直しを行い、地域住民との連携、協力を図りながら災害に備える。</p> <p>○重点項目</p> <p>(1) 通所介護事業</p> <p>・通所介護計画に基づき、利用者個々の状況に応じた生活リハビリ、身体的リハビリ及び認知症予防を意識した脳活性化プログラム等をバランスよく働きかけ、機能維持・向上・在宅生活の継続を支援する。定員を60名に増員し、通所介護事業を一本化して、利便性を高める。</p> <p>(2) 在宅介護支援センター事業</p> <p>・介護予防、認知症予防に関する各種教室等を開催するとともに、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携強化を図り、「地域包括支援センター」のブラント機能をともにもに地域の総合的な相談窓口として機能強化を図る。</p>	<p>・馬下地区福祉のまちづくり運動推進会議や四季の行事等で積極的な運営推進会議を中心に防災協力や四半の行事等で積極的な交流を図ることができた。</p> <p>・台風19号の避難準備情報発令の際は、実際に入居者を避難させる機会を経験し、日頃の訓練の大切さを実感した。</p> <p>・個々の望む訓練、現状の生活や心身状態に合わせた機能訓練を行った。認知症型は閉鎖したが、個別活動を継続。脳活性化プログラムとして、脳トレプリント、手作業、グループ活動を行った。</p> <p>・定員を57名から60名に増員したが、4～8月は、新規利用者が少なかったことや、認知症型閉鎖に伴う移行がスムーズに行かず稼働が低迷した。</p> <p>・各種予防教室の開催、お茶の間サロンへ出向いての啓発活動など予定通りに実施できた。</p> <p>・関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握と悪化予防を図り、生活支援コーディネーターとして地域座談会に参加し、地域づくりに取り組んだ。</p> <p>・法人内3在介連携でのサービス提供を行うことができ</p>	<p>・避難訓練マニキュアルの見直し(タイル、移動方法)</p> <p>・サービスの質を高め稼働向上につなげる。</p>

施設名	計画	報告	課題等
五泉中央デイサービスセンター・五泉中央サポーターセンター	<p>(3) 居宅介護支援事業 (老人)</p> <p>・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。障害者相談支援事業の連携体制を強化して、総合的な相談支援の充実を図る。</p>	<p>・困難ケースにも積極的に対応し、関係機関と連携して在宅生活継続の支援を行った。</p> <p>・各種研修会に参加し、個人のスキルアップに努め、事業所内研修や事例検討など事業所全体としてもスキルアップに努めた。</p>	<p>・困難ケース対応時の関係機関との連携。</p>
	<p>(4) 相談支援事業 (障害)</p> <p>・五泉市からの委託相談支援事業、計画相談支援事業、県委託の地域相談支援事業等を活かしながら支援を行う。それにあたり、行政及び五泉市基幹相談支援センター・高齢のワンストップ相談を含めた総合的な相談支援に努め、居宅介護支援事業と連携して多様なニーズに対応する。</p>	<p>・今年度より相談員5名体制となり、特定事業所として24時間電話での相談対応も行った。</p> <p>・あさひの家から引き継いだケースや、高齢家族のケースなど総合的な相談ケースが増加した。</p>	<p>・関係機関との連携強化。</p>
	<p>(5) 自立生活援助事業 (障害)</p> <p>・単身や生活する利用者に、定期的な巡回訪問や随時通報を受けての訪問を行い、相談対応や助言、情報提供、関係機関との連絡調整等の自立した生活を営むために必要な援助を行う。</p>	<p>・今年度より事業を立ち上げたが利用の依頼はなかった。</p>	
	<p>(6) 新潟圏域障害者地域生活支援センター事業</p> <p>・新潟県からの委託を受け、五泉市・阿賀野市・阿賀町における対応困難ケースへの助言及び地域のネットワーク構築に向けた広域的な支援を行う。また、3年後の本事業再編を見据え、各市担当課、基幹相談支援センター、新潟地域振興局等と協議を重ねながら円滑な引き継ぎに向けた準備を進める。</p>	<p>・個別相談ケースより、圏域内市町村の自立支援協議会、基幹運営や立ち上げに向けた協議等、体制整備に係る支援を行った。</p>	
	<p>○地域交流・防災</p> <p>・立地条件の良さを活かし、地域ボランティア（慰問）の積極的な受け入れ及び学校関係の就業体験等には施設機能を広く開放する。災害時において、職員の役割分担や連絡体制、利用者の安全確保対策を定めるとともに、年2回以上の避難訓練を実施する。</p>	<p>・ボランティアや保育園の慰問、学校の職場体験、介護看護実習生の受け入れを行った。</p> <p>・火災、水害想定での避難訓練を実施した。</p>	<p>・防災意識を高める。</p>

施設名	計 画		報 告	課題等
うずらはし				
○重点項目				
(1) 特別養護老人ホーム事業	<p>・ユニットケアを中心とした生活単位を基本に、季節の移り変わりを感ずる行事や食事の提供をする。そして潤いのあるゆったりとした日常生活の流れと家庭的な雰囲気大切に、入居者それぞれの個性や生活リズムに沿った生活が送れるよう支援する。そのため、職員ユニット専任配置、入居者の個別の日課、分業化しなしい介護を実践し、入居者のこれまでの暮らしの継続とその人らしさを保障する。「いつか必ず来るその時」までの悔いの残らない逝き方を本人や家族と一緒に考えて納得のいく「看取り」を実践する。また、介護の基本に立ち返り、入居者個別の援助方法や生活環境の見直しを図る中で、安全・安心が得られるサービス提供に努め、介護事故ゼロを目指す。</p>	<p>・特養全体での家族交流会に加え、ユニットごとの家族交流会を実施し、ご家族と顔の見える信頼関係づくりに努めた。 ・その人らしさを大切にしたり特別に1日への支援や想いに沿ったケアを心掛けることで、介護事故や苦情相談も減少している。 ・家族へ終末期の説明を丁寧に行うこと、意向の再確認を行うことで看取りについての思いを共有し実践することができた。</p>	<p>・チームワークの向上 ・新人育成と定着 ・介護事故撲滅 ・感染症対策の強化</p>	
(2) 通所介護・認知症対応型通所介護事業	<p>・通所介護計画や個別機能訓練計画に沿った介護サービスを提供し、脳活性プログラムを積極的に活用した認知症ケアに積極的に取り組むことで、認知症の進行予防や身体機能の低下予防を図る。また、利用者のこれまでの生活経験を生かした活動を取り入れることで、意欲を持って自主的に取り組める「生きがい」を持ち、楽しみながら生活機能の向上(自信の回復)を図れるよう支援する。</p>	<p>・誉める・励ます・認めるを基本とした認知症の方への働きかけを実践し、前向きな行動変容になるよう努めた。 ・働きかけを実践するための活動であるが、目的にずれが生じてしまい、年間を通しての効果的な実践ができなかった。 (※) 「Plan (計画)」「Do (実行)」「Check (評価)」「Action (改善)」を繰り返し、業務を実践すること</p>	<p>・PDCAサイクル(※)に沿った活動の実践 ・利用者の軽度化に対応したサービスの提供</p>	
(3) 在宅介護支援センター事業	<p>・住み慣れた地域の中で生きがいのある充実した生活が送られるように、健康づくりや介護予防に対して啓発活動を行うとともに、転倒予防、認知症予防等の各種教室を開催する。さらに、市の関係機関や民生委員、居宅介護支援事業所と連絡調整し、各種保健・福祉サービスが受けられるよう支援すること、地域包括ケアとして高齢者福祉の向上を目指す。また、地域包括ケアとして生活支援サービスの基盤整備に努める。</p>	<p>・各種予防教室の開催、お茶の間サロンへ出向いての啓発活動など予定通りに実施できた。 ・関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握と悪化予防を図り、生活支援コーディネーターとして地域座談会に参加し、地域づくりに取り組んだ。 ・法人内3在介護でのサービス提供を行うことができ</p>	<p>・行政との連携と情報交換</p>	

施設名	計 画	報 告	課題等
うすらはし	<p>(4) 居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の質の高い自立支援型ケアマネジメントを推進する。公正中立を確保し、地域・関係機関・専門職等とのネットワークによる地域ケアをこ推進するとともに、医療との連携をさらに強化することとで、地域包括ケアシステムの構築の中心的役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> 質の高いマネジメントを提供できるよう個人が研修にも積極的に参加した。困難なケースでも相談しあい対応したが、利用者の入院をきっかけに在宅生活が難しくなる事例が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅サービスの連携強化 記録の簡素化
梶の郷	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域行事・地域活動への積極的な参加と協力をを行うとともに、認知症対応型通所介護に係る運営推進会議を設け、地域との結びつきと連携、運営の透明性を強化する。また、毎月の避難訓練の実施や、年1回の地域合同防災訓練を地元の協力を得て行うことで、災害時の住民協力量体制整備を図る。 <p>○重点項目</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニットの特徴を最大限活かし、職員の専任配置、基本介護のユニット内完結などで家庭的で温かみのあえる介護サービスの提供。個別支援計画及び24時間シフトに基づき、多職種協働で入居者の「自立」と「自律」を支援する。立地条件を活かし入居者の生活が閉鎖的にならないよう、季節行事、地域行事等に積極的に参加し地域交流を図る。看取り介護について、入居者の今ままで歩んできた人生を大切にし、職員がチームで入居者、家族に寄り添い、共に悩み考え、「旅立ち」の時までサポートしていく。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣小学校等との交流や地域行事へ積極的に参加、協力する。梶の郷運営推進委員との連携を図り、ボランティアや慰問の受入、秋季祭礼等の地域貢献事業を継続し、地域との結びつきを大切にいく。日頃の避難訓練や消火訓練の継続、そして、地域消防団や地域住民の協力を得ながらの総合的な防災体制の構築を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年に1度の地元神社の祭礼に参加協力し地域住民との交流を図った。 地域合同防災訓練では、例年以上の地域住民の参加を得て実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との災害時協力量体制の強化 災害時の事業所間の協力量体制の構築
		<ul style="list-style-type: none"> 入居者の心身の状況、生活習慣、暮らしの意向等を踏まえ、その人らしく生活できるような支援を心掛けた。入居者の趣味や希望を考慮して「入居者の希望を叶える」企画を継続し、レク、行事等への参加を通して楽しんで頂いた。 嘱託医師との連携のもと、チームでの看取り介護を行いその人らしい最期を迎えられるよう支援を行った。開設から6年が経過し、看取りを迎える入居者が増加傾向にあり、施設で5名の看取りを行った。 入居者の入院等で空床の際には、居宅ケアマネと連携し、短期入所の受け入れを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 各ユニットの特色を生かした個別ケア、看取りケアの充実 次期入居候補者選定の迅速な対応
		<ul style="list-style-type: none"> 秋季祭礼受入では地域住民の方が多く来場され、入居者との交流を行った。また7月に地域住民向け健康講座開催し、憩いのホールも地域住民向けに活用を図った。(R2.2月以降、新型コロナウイルス感染症防止の為に利用中止) 運営推進会議を年6回(うち1回は書面)開催し、運営推進委員を中心とする地域住民との合同避難訓練を実施した。 五泉小学校の校外学習の受け入れ、花苗のプランター贈呈、水やりなどを通して、入居者との交流を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流の継続、防災における地域との連携・強化

附 属 明 細 書

苦情・事故件数（県・市町村へ報告した事案）

施設名	苦情合計	事故の種別				事故合計	
		※負傷等（骨折、打撲、裂傷等）	誤飲・誤薬	無断外出・徘徊等	その他		
障害福祉事業部	いずみの里	0	1	0	0	0	1
	陽だまり（グループホーム）	0	0	7	0	0	7
	自立就労センターいずみ	0	0	0	0	0	0
	第二いずみの里	0	3	6	0	1	10
	満日の里	0	0	8	2	0	10
	なでしこ（グループホーム）	0	0	0	0	0	0
	きなせ家	0	0	0	0	0	0
	さくらの里	0	0	0	0	0	0
	あさひの家	0	0	0	0	0	0
	虹工房	0	1	0	0	0	1
たんぽぽ	0	0	0	0	0	0	
高齢福祉事業部	菅名の里	0	3	2	0	0	5
	まおろしの郷	0	4	4	0	0	8
	五泉中央デイサービスセンター	0	1	0	0	0	1
	うずらはし	0	7	2	0	0	9
	帛の郷	0	3	8	0	0	11
合計	0(3)	23(39)	37(37)	2(3)	1(4)	63(83)	

※負傷等の報告対象事故…（障害）治療に相当期間（1週間以上）を要する場合
（高齢）医療機関への受診を要した場合

※括弧内は平成30年度の合計数

事業所別年間利用者数・稼働率

	施設名	事業名	令和元 年度 3月末 現在定員	年間 営業日	平成30年度		令和元年度		前年比 (利用 者数) ③-①	前年比 (稼働 率) ④÷②
					利用者 数 ①	稼働率 ②	利用者 数 ③	稼働率 ④		
障 害 福 祉 事 業 部	いずみの里	施設入所支援	40	366	13,996	96	14,377	98	381	102.7%
		生活介護	40	366	11,343	78	11,853	81	510	104.5%
		短期入所（併設）	5	366	1,923	105	1,888	103	-35	98.1%
	陽だまり	共同生活援助	43	366	15,214	93	14,221	90	-993	97.1%
	自立就労セン ターいずみ	自立訓練(生活訓練)	10	241	1,308	54	1,783	75	475	138.9%
		就労移行支援			724	50				
		就労継続支援A型	6	241	1,099	76	1,095	77	-4	101.3%
		就労継続支援B型	34	241	7,384	109	7,936	98	552	89.9%
	第二いずみの里	施設入所支援	50	366	17,265	95	18,264	99	999	104.7%
		生活介護	55	366	13,369	67	13,422	67	53	100.6%
		短期入所（併設）	5	366	826	45	1,058	57	232	125.8%
	満日の里	施設入所支援	50	366	18,119	99	17,413	95	-706	95.8%
		生活介護	60	366	14,763	67	14,836	68	73	100.2%
		短期入所（併設）	10	366	1,896	53	1,997	55	101	103.6%
	なでしこ	共同生活援助	20	366	6,913	95	6,946	95	33	100.6%
	きなせ家	生活介護	15	308	4,971	109	4,914	106	-57	97.2%
		就労継続支援B型	22	237	5,345	101	5,050	97	-295	96.2%
	さくらの里	生活介護	10	254	2,357	93	2,298	90	-59	96.6%
		就労継続支援B型	20	241	4,853	101	4,629	98	-224	97.3%
	虹工房	就労移行支援	3	244	588	79	576	77	-12	97.5%
就労継続支援B型		17	244	4,242	101	4,222	99	-20	98.0%	
たんぼぼ	生活介護	6	242	1,296	90	1,025	72	-271	80.0%	
	就労移行支援	6	242	581	40	205	15	-376	37.5%	
	就労継続支援B型	20	242	4,873	102	4,392	92	-481	90.2%	
高 齢 福 祉 事 業 部	菅名の里	介護老人福祉施設	80	366	28,493	98	28,899	98	406	100.4%
		短期入所生活介護	20	366	6,320	87	6,755	92	435	106.2%
		通所介護	34	366	10,995	89	10,743	86	-252	97.1%
まおろしの郷	介護老人福祉施設	28	366	9,941	97	10,068	98	127	100.7%	
	短期入所生活介護	14	366	4,790	94	4,731	92	-59	98.2%	
五泉中央デイサー ビスセンター	通所介護	60	366	15,458	94	18,413	84	2,955	89.4%	
	認知症型通所介護			2,789	64					
うずらはし	介護老人福祉施設	60	366	21,300	97	21,591	98	291	100.8%	
	通所介護	30	366	9,883	90	9,482	86	-401	95.7%	
	認知症型通所介護	12	366	3,438	79	3,832	87	394	111.1%	
帛の郷	介護老人福祉施設	29	366	10,295	97	10,204	96	-91	99.0%	

職員数の推移

(4月1日現在在籍数)

※嘱託医除く・産休育休等含む

所属		区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
法人本部		正規	4	4	4	4	4
		嘱託・準	1	2	1	2	2
		パート・日給					
法人本部計			5	6	5	6	6
いずみの里 (グループホーム含む)		正規	32	33	39	35	36
		嘱託・準	15	15	11	11	9
いずみの里計		パート・日給	18	18	17	14	20
いずみの里計			65	66	67	60	65
自立就労センターいずみ		正規	8	7	6	4	6
		嘱託・準	9	10	12	14	11
いずみ計		パート・日給	7	8	8	8	6
いずみ計			24	25	26	26	23
第二いずみの里		正規	26	30	33	29	29
		嘱託・準	11	7	6	5	5
第二いずみの里計		パート・日給	10	8	5	6	7
第二いずみの里計			47	45	44	40	41
障害 満日の里 (グループホーム含む)		正規	39	38	42	43	44
		嘱託・準	18	15	13	10	8
満日の里計		パート・日給	24	24	25	19	21
満日の里計			81	77	80	72	73
福祉 障がい者デイサポートセンター明日葉		正規					9
		嘱託・準					5
障がい者デイサポートセンター明日葉計		パート・日給					1
満日の里計							15
事業部 きなせ家		正規	7	9	8	8	7
		嘱託・準	11	8	10	10	13
きなせ家計		パート・日給	4	3	2	1	1
きなせ家計			22	20	20	19	21
さくらの里		正規	3	6	5	6	6
		嘱託・準	2	7	6	5	6
さくらの里計		パート・日給	3	2	4	3	3
さくらの里計			8	15	15	14	15
あさひの家		正規	8	7	7	5	5
		嘱託・準					
あさひの家計		パート・日給	1	1	1	1	1
あさひの家計			9	8	8	6	6
虹工房		正規	3	4	3	4	5
		嘱託・準	3	3	4	6	7
虹工房計		パート・日給	3	3	2	1	1
虹工房計			9	10	9	11	13
たんぽぽ		正規	5	6	6	6	6
		嘱託・準	6	5	5	6	5
たんぽぽ計		パート・日給	6	8	9	8	10
たんぽぽ計			17	19	20	20	21
高年齢 菅名の里		正規	52	50	55	58	60
		嘱託・準	22	22	20	15	14
菅名の里計		パート・日給	25	24	28	25	25
菅名の里計			99	96	103	98	99
まおろしの郷		正規	16	18	18	20	20
		嘱託・準	7	7	4	3	2
まおろしの郷計		パート・日給	7	3	6	7	9
まおろしの郷計			30	28	28	30	31
福祉 五泉中央デイサービスセンター		正規	20	21	19	19	20
		嘱託・準	9	9	10	10	9
五泉中央デイ計		パート・日給	11	13	13	14	14
五泉中央デイ計			40	43	42	43	43
五泉中央サポートセンター (基幹・包括出向含む)		正規	12	12	11	18	18
		嘱託・準		1		1	1
五泉中央サポ計		パート・日給					
五泉中央サポ計			12	13	11	19	19
事業部 うずらはし		正規	46	47	52	49	52
		嘱託・準	20	19	16	16	13
うずらはし計		パート・日給	8	5	5	9	11
うずらはし計			74	71	73	74	76
帛の郷		正規	12	12	16	16	19
		嘱託・準	12	12	8	7	6
帛の郷計		パート・日給	3	4	5	6	6
帛の郷計			27	28	29	29	31
全体		正規	293	304	324	324	346
		嘱託・準	146	142	126	121	116
		パート・日給	130	124	132	122	136
全体計			569	570	582	567	598

職員有資格者数（延べ人数）

令和2年3月31日現在

所属		社会 福祉士	介護 福祉士	精神保健 福祉士	介護支援 専門員	社会福祉 主事	保育士	喀痰吸引
法人本部		0	0	0	1	4	0	0
障害福祉事業部	いずみの里（グループホーム含む）	8	17	2	2	23	7	13
	自立就労センターいずみ	1	5	0	1	7	1	2
	第二いずみの里	5	12	2	1	11	6	5
	満日の里（グループホーム含む）	14	24	3	4	26	9	8
	きなせ家	2	6	1	1	9	3	1
	さくらの里	1	5	1	0	4	3	1
	あさひの家	3	1	1	0	3	1	0
	虹工房	1	2	1	0	4	1	0
	たんぽぽ	1	7	1	1	7	0	2
高齢福祉事業部	菅名の里	7	46	1	8	28	2	39
	まおろしの郷	1	15	0	4	7	1	13
	五泉中央デイサービスセンター	5	18	2	5	10	0	7
	五泉中央サポートセンター（基幹・包括出向含む）	8	7	2	10	9	6	1
	うずらはし	7	41	3	16	19	3	36
	帛の郷	2	15	1	6	11	1	12
合計		66(71)	221(213)	21(20)	60(64)	182(173)	44(39)	140(142)

※括弧内は平成30年度の合計数

職員研修（外部・内部）参加者延べ人数

所属	平成31年 4月		令和元年 5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		令和2年 1月		2月		3月		
	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	
法人本部	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いずみの里（グループホーム含む）	100	247	4	0	5	0	11	46	10	85	6	0	10	0	14	10	64	31	20	0	18	2	0	0	0
自立就労センターいずみ	27	137	0	0	2	0	4	20	2	25	1	15	2	7	5	17	7	19	3	19	0	15	1	0	0
第二いずみの里	51	213	0	0	2	10	9	37	6	0	5	16	3	35	12	70	11	17	3	16	0	5	0	7	0
満日の里（グループホーム含む）	160	166	0	0	4	0	15	0	22	3	19	0	8	40	28	34	39	14	39	4	11	7	0	0	0
きなせ家	32	46	2	1	1	0	7	0	1	0	2	0	2	0	7	23	4	0	5	22	1	0	0	0	0
さくらの里	45	23	1	0	0	0	5	0	10	1	5	0	2	0	12	10	6	0	4	12	0	0	0	0	0
あさひの家	18	49	0	0	0	5	3	0	4	11	1	0	1	4	4	6	2	8	2	5	0	10	1	0	0
虹工房	17	86	1	0	2	0	1	0	1	12	3	10	1	8	1	19	5	12	2	9	0	16	0	0	0
たんぼぼ	29	14	0	0	1	0	1	2	4	0	3	0	3	5	15	7	0	0	0	0	0	0	2	0	0
菅名の里	73	590	2	10	7	44	13	80	4	21	0	0	17	24	12	103	11	63	3	21	3	52	1	77	0
まおろしの郷	25	193	1	4	5	3	3	22	2	21	3	1	3	26	4	52	2	5	0	0	2	10	0	22	0
五泉中央デイサービスセンター	26	146	1	4	1	2	2	13	10	11	4	9	5	23	1	44	1	24	1	0	0	16	0	0	0
五泉中央サポートセンター	72	124	1	11	3	7	4	4	7	13	6	12	8	7	13	25	15	13	5	12	3	14	2	6	5
うずらはし	104	539	2	11	7	37	21	59	13	77	11	49	16	46	10	85	5	97	5	28	10	27	4	22	0
島の郷	22	145	0	9	2	10	7	11	6	25	2	10	2	0	2	22	1	19	0	0	0	7	0	32	0
合計	803	2,721	15	50	42	118	106	294	102	305	71	122	85	225	137	534	119	380	78	203	23	201	20	166	5